

# 目次

	(頁)
1 実施方法等	1
2 回答率	2
第1部 各国公私立大学・短期大学の学生支援担当理事・副学長に対するアンケート結果	3
I 学生支援に関すること	3
問1 学生支援に関する現状	
○求められる専門性、予算の充実が必要	3
○職員に比べ、教員の学生支援に関する理解度は低い	4
○学生支援では連携が課題、保護者との連携も	5
問2 学生支援と大学等の評価基準	
○学生支援は大学の評価基準としては重要、しかし評価基準は現状でよい	6
問3 学生支援の取組みに関する課題	
○学生支援の課題は、担当者の確保と予算	7
問4 学生支援の分野における課題	
○メンタルヘルスや障害者等への対応が課題	8
問5 学生支援に必要な専門性	
○教職員の連携が極めて重要	10
○学生支援では相談力が重要	11
○健康や障害等に関する情報や知識が必要	13
○危機管理、安全の確保に関する情報や知識は不可欠	14
問6 スチューデントコンサルタントについて	
○まだまだ低いスチューデントコンサルタントの認知度	15
II 学生の実態等に関すること	17
問7 貴学の学生をみてどのように感じていますか（今の学生のタイプ等）	
○素直で真面目な学生、勉学にも懸命に取り組んでいる。一方、職員の間からは目的意識がなく、漫然と過ごしている学生が多いと映っている	17
○アルバイトや課外活動への参加は6割	19
○本や新聞を読む学生が減少	20
問8 授業への取組について	
○授業の出席率はよく、真面目に聴いているが、予習・復習や課題図書等の調査などには取組が不足	21
○授業中のメールや私語は少ない	24
問9 友人関係等	
○友人づくりに努力している反面、幅広くコミュニケーションを行うことは苦手	25
問10 最近の学生のライフスタイルや処世観等	
○海外で活躍したい学生は少数、おとなしく内向きな姿が垣間見える	27
○面倒なことには関わりたくなくて、指示待ちが多い	29
III 大学等の将来像について	33
問11 大学等の将来像	
○少子化により入学者数の減少を予測。地元通学の学生は増える	33
○留学生の増には奨学金や住居等の環境整備が重要	35
○統廃合と機能分化が進展し、地域差が顕著になる	36
問12 今後の学生支援の在り方	
○学生支援は、研修（専門性の向上）、教職協働（連携）、予算の充実が3本柱	38

問13 ネット社会の影響	
○ネット社会では大学間の教育研究の連携が進む。バーチャル大学の出現も	39
○ネット社会における危機管理等の対応が重要	41
	(頁)
第2部 スチューデントコンサルタント認定者に対するアンケート結果	44
I スチューデントコンサルタントに関すること	44
問1 スチューデントコンサルタント受験の動機	
○研修の一環で受験した者や、先輩や上司の勧めで受験した者が多い	44
問2 スチューデントコンサルタントに認定された後の状況	
○学生支援の仕事を継続している者は6割	44
問3 認定後の取扱い	
○人事上等の配慮はないが、学内でのスチューデントコンサルタントに対する理解、認識が高まった	45
問4 認定試験等に関する評価	
○学生支援にとってスチューデントコンサルタントの認定試験制度は意義がある	45
問5 認定者として希望すること	
○もっとPR・周知が必要	46
II 学生支援に関すること	47
問6 学生支援で心がけなければならないこと	
○連携し、全学的な体制の整備に努力	47
問7 学生支援の取組みに関する課題	47
問8 学生支援の分野における課題	47
問9 学生支援に必要な専門性	48
問10 修学指導に必要なこと	
○修学指導では教員との接し方と保護者への説明が必要	48
問11 就職指導・サポートの課題	
○志望・進路が不明確で、連絡しても来てくれない学生もいる	49
問12 外国人留学生への対応の課題	
○語学力と経済環境に問題	50
問13 健康問題への対応	
○実態把握と疾病・障害等に関する基礎的な知識や対応例の理解が大事	50
III 学生の実態等に関すること	52
問14 今の学生のタイプ等	52
問15 授業への取組等	52
問16 友人関係等	53
問17 最近の学生のライフスタイルや処世観等	53
IV 大学等の将来像について	54
問18 大学等の将来像	54
問19 今後の学生支援の在り方	54
問20 ネット社会の影響	54